

パラミタコンサート

ピアノデュオで奏でる幻想の世界

2025.12.6(土) 14:00～15:00

(入館料のみでお楽しみいただけます)

英語ではピアノ連弾を“4 HANDS”と言います。1台のピアノを4つの手が奏でる時、楽器の音色は変わります。ピアノ連弾でなければ出せない親密さ、重音の複雑さを、シューベルトの大作“ファンタジー”、楽しいスペインの踊り、そしてフランスの香りのするおとぎ話の数々を通してお楽しみ下さい。

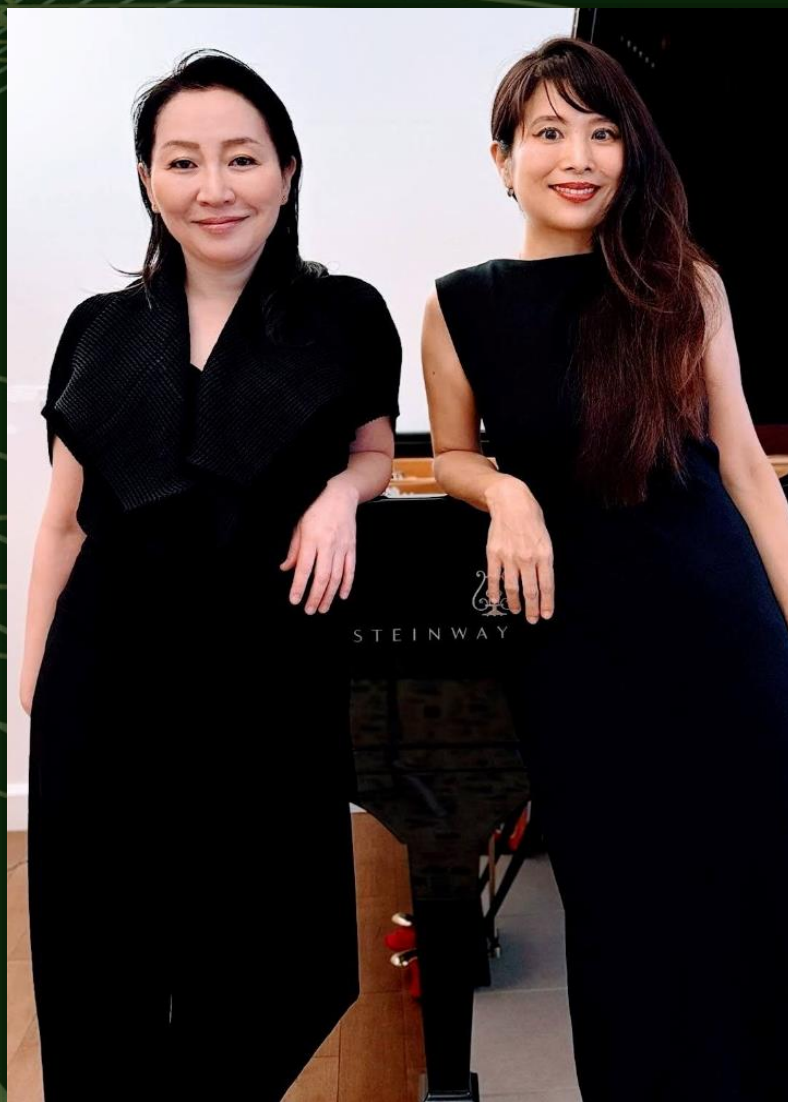
Schubert “Fantasie in f minor, Op.103”
シューベルト “ファンタジー”

Moszkowski “Album Espagnol Op.21”
モシュコフスキー “スペインのアルバム”
4つのスペインの踊り

Ravel “Ma mere l’oye”
ラヴェル “マ・メール・ロワ (マザー・グース)”
第1曲 眠れる森の美女のパヴァーヌ
第2曲 親指小僧
第3曲 パゴダの女王レドロネット
第4曲 美女と野獣の対話
第5曲 妖精の園



コンサート会場 (1F第3室)



佐々木 宏子

大橋 咲子

パラミタミュージアム企画展「こわくて、たのしいスイスの絵本展」開催中

公益財団法人岡田文化財団

パラミタミュージアム

三重県三重郡菰野町大羽根園松ヶ枝町21-6

TEL:059-391-1088 FAX:059-391-1077

会場: 1F第3室 (池田満寿夫「般若心経シリーズ」)

♪全自由席。ご鑑賞用の席には限りがございます。

♪会場は展示室内です。作品を囲むように客席を設置いたしますので、

お席によっては舞台が見えにくい場合がございます。予めご了承ください。

♪曲目等は都合により、予告なく変更する場合がございます。

♪館内環境保護のため、生花等の植物の持ち込みはできません。



paramita MUSEUM



HIROKO SASAKI 佐々木 宏子

三重県津市に生まれる。3歳よりピアノを始め、7歳で播本三恵子氏に師事。13歳の時、内田光子氏の推薦を受け、英国ユーディ・メニューヒン・スクールに留学。16歳、米国カーティス音楽院入学。レオン・フライシャー氏に師事。翌年ロンドン、フィルハーモニア管弦楽団とモーツァルトコンチェルト21番共演、ヨーロッパデビューを飾る。英国インディペンデント紙は『17歳の少女の演奏とは信じ難い高度な表現力』と絶賛。ピーボディ音楽院大学院でフライシャー氏と引き続き学ぶ。トロント王立音楽院アーティストディプロマ取得、コンチェルト・コンクール優勝。室内学を、ゲアルネリ弦楽四重奏団、ピーター・ゼルキン、フィリックス・ガルミア、ジュリ・アード弦楽四重奏団、ジュリアス・レブリン、ロバート・マクドナルド各氏に学ぶ。

2003年カーネギーホールでデビューリサイタル。ミュージックアメリカ誌『2004年期待出来る新人』に選ばれる。ワシントンポストはフィリップ・コレクションでのコンサートを『輝く演奏』と賞賛。2019年ハンガリーでの演奏をFIDELIO MAGAZINEは『彼女の繊細な演奏は故国民的ピアニスト、アニー・フィッシャーを思い来させた一卓越した素晴らしい技術を持って、彼女は完璧なポストロマン的な経験を再現した』と称賛。

2014年、英国Piano Classicよりドビュッシー：前奏曲第1巻/2巻出版。1873年製のプレイヤルピアノを使って録音されたこのCDを、英国のガーディアン紙は『完璧に洗練されたフレージング、ドビュッシーも認識する美しい音色』と称賛し、4つ星評価を与える。国内誌『レコード芸術』では準特選盤に選ばれ、『演奏は細やかなニュアンスに満ち、このピアノを最上のやり方で活かしたものだと言えよう』と評価する。

2024年米国JED DISTLERのポッドキャストのエピソードに取り上げられる。他、米国NAXOSより、S.バランタイン氏とF.レビー作曲チェロ/ピアノソナタ全曲集が発売されている。

世界でソロ/室内楽リサイタルを行い、夏季にはリッチモンド、ハディントン、メニューイン、タオス、タングルウッド、イスラエル、バンフ、フランス・ヴィルクローズ、ブダペスト・スプリング、ベートーベン音楽祭他に招かれる。2007年アマデウス・トリオのピアニストに抜擢され、アメリカ国内各地で演奏。コンチェルトのソリストとして、プラハ放送交響楽団、ロンドン・フィルハーモニア管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ブダペスト室内楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団等と共演。

岡田文化財団、ロームミュージックファンデーション、英国マーティン・スカラシップ、VILLECROZE MUSIC FESTIVALから奨学金を授与される。

現在ニューヨーク在住。

SAKIKO OHASHI 大橋 咲子

兵庫県立西宮高校音楽科を経てジュリアード音楽院にて学士、修士課程習得。1996年にNYのリンカーンセンターにてコンチェルトコンクール優勝後、ジュリアードシンフォニーと協演。アスペン音楽祭にてアスペンアーチストオーケストラとE. NAKAMICHIコンチェルトコンクール優勝後、協演。以来サウスカロライナシンフォニー、ルイジアナフィルハーモニー、サウスダコタシンフォニー他、多数オーケストラとコンチェルト協演。

アメリカのアスペン音楽祭、キリングトン音楽祭、グラスボローセッション、カナダのバンフ音楽祭、オーフセーター、ザルツブルクモーツァルテウム夏期講習、フランスのフォンテンブルー音楽祭など数多くの音楽祭に参加。スワニー音楽祭、ホットスプリングス音楽祭などで講師も務める。

ピアノを小島史津子氏、長山いずみ氏、森川和子氏、ハーバート・ステッセン氏、ジタ・ゾーハー氏に師事。室内楽をフィリックス・ガリミア氏、ジョナサン・フェルデマン氏、スティーブン・クラップ氏、ハーヴィ・シャピーロ氏に師事。他フィリップ・アントルモン氏、ガビー・カサデス氏、アントン・クアーティ氏、カザリン・ヴィカーズ氏、ベルント・グレンザー氏、ロランド・フェノヴィッシュ氏に夏期講習で師事。

ソロ、室内楽の活動のほか、ルイジアナ州立ニューオーリンズ芸術高等学校でクラシック音楽科のディレクターを務め、オーガスタ大学、バード大学、マイアミ大学などでも教える。バード大学音楽院付属音楽学校のディレクターも務め、演奏以外にも教育に力を入れている。2001年にGOTTSCALK、DEDE、LAMBERTの作品をNAXOSよりCDリリース。

2022年よりバーモント州のウェストウィンザー室内楽音楽祭を設立。2023年よりジュリアードプレカレッジの臨時講師。

現在マイアミ在住。

